



いのちとくらしをまもる
防 災 減 災

令和3年3月22日
国土交通省中部地方整備局
富士砂防事務所

砂防施設（富士山大沢川遊砂地）で土石流を止めました。

3月21日の降雨で、富士山大沢川では土石流が発生しましたが、砂防施設（大沢川遊砂地）が効果を発揮したため、被害はありませんでした。大沢川遊砂地で捕捉した土砂量は現在調査中です。

1. 内 容（別紙1）

富士山周辺では、3月21日の降雨により、大沢川上流の大滝雨量観測局で時間最大雨量31mm（3月21日15時～16時）、累加雨量258mmを観測しました。

富士砂防事務所では防災体制をとり、監視カメラによる監視等を行っていましたが、14時8分頃に岩樋観測所の監視カメラで土石流の発生を確認しました。その後の調査で大沢川遊砂地が効果を発揮したため、被害が無い事を確認しました。

また、現在、補足した土砂量を把握するため、ドローンを活用し大沢川遊砂地の測量を行っています。

2. 配 布 先：静岡市政記者クラブ、富士宮市記者クラブ、富士記者クラブ 山梨県政記者クラブ

3. 備 考：記者発表資料は「富士砂防事務所ホームページ」にも掲載しています。

<https://www.cbr.mlit.go.jp/fujisabo/index.html>

また、土石流の映像は提供可能です。必要な場合はお問い合わせください。

【問合せ先】 国土交通省中部地方整備局 富士砂防事務所

副 所 長 西原 均

調 査 課 長 村松 弘一

TEL 0544-27-5221

メール cbr-fujisabo@mlit.go.jp

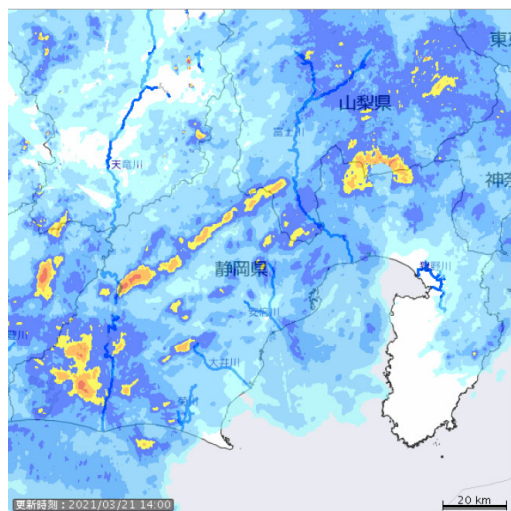
1. 土石流発生状況

別紙-1

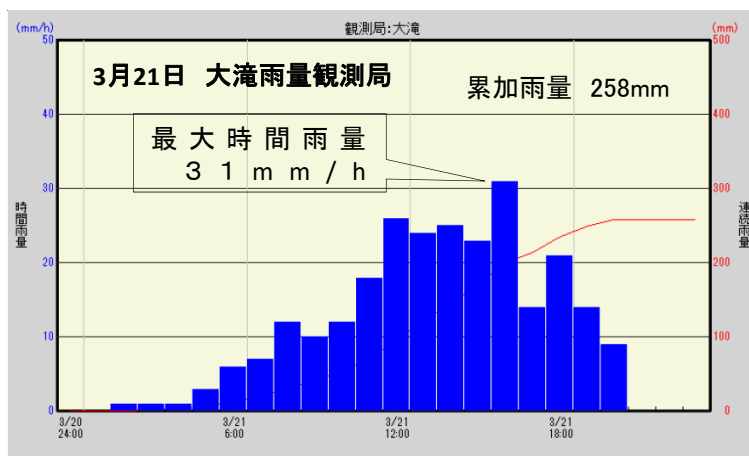
3月21日の降雨により、大滝雨量観測局にて最大時間雨量 31mm/hを記録。
富士山源頭部を水源とする大沢川では土石流が発生。



雨量状況



雨量状況(川の防災情報)



雨量状況(大滝雨量観測局)

2. 大沢川の土石流と、遊砂地の効果

3月21日の降雨で、富士山大沢川では土石流が発生しましたが、砂防施設(大沢川遊砂地)が効果を発揮したため、被害はありませんでした。
捕捉した土砂量は現在調査中です。

位置図



大沢崩れ



3. 富士山源頭部の状況

3月21日の降雨では、富士山源頭部の雪が溶け、降雨量以上の水量となり土石流を発生させました。

降雨前の状況(3月20日)



山梨県南都留郡鳴沢村富士山 源頭部



降雨後の状況(3月22日)



山梨県南都留郡鳴沢村富士山 源頭部